

# いつまでも慣れ親しんだ自宅で。 ～家族と共に支える介護～

社会福祉法人 北叡会

江別地域複合型ライフケアセンター夢あかり

短期入所生活介護 華あかり

佐々木 拓也(介護福祉士)

共同研修者:秋元 寿也(介護福祉士)、大浦 美樹子(相談員)

高見 祐美子(看護師)、吉谷 敬(施設長)



# 社会福祉法人 北叡会 江別地域複合型ライフケアセンター夢あかり

江別市人口	119,214人	65歳以上人口	333,18人	高齢化率	27.90%
入所者定員	80名	平均年齢	85.6歳	平均介護度	4.06
職員数	114名	職員数内訳	介護職 72名 看護職 4名	入所職員配置比率 (介護+看護)	1.56
併設施設・事業	短期入所生活介護（10床）、通所介護（定員24名）				



# ショートステイが大切にしている事

---



## ①生活の主体は在宅

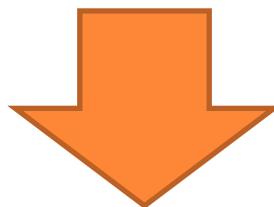
ご自宅での環境やリズムに近い生活を送る事が出来る。

## ②健康状態の悪化・事故を引き起こさない

ショートステイ利用によるADL低下、疾患の増悪はNG。

## ③和む空間

「連れてこられる」という意識ではなく、自ら「行きたい」と思って頂ける環境作り。



同居家族と職員の思いに相違が生じる



## 事例 K・K様 (88) 男性 要介護2

日常生活自立度:寝たきり度 A1、認知症 IIb

### 【ケース詳細】

前立腺がん、糖尿病、骨粗鬆症、盲腸がん転移

KPである長女様と市内にて同居中。KP夫婦が共働きにてデイサービス週4、レスパイトを目的とし、ショートステイを利用。別事業所の特養入所申し込みもしているが、現在のご本人様の状態であれば出来る限り在宅での介護を希望している。入所日の尿状態は白く混濁し、粘性である場合があるが、利用経過に伴い正常色への改善あり。夜間帯、尿失禁もあるが衣類汚染に至るほどではない。入所日の本人様の表情はぼーっとしており、発語も少ないが、入所翌日より笑顔で自発的な発語も多数聞かれている。



KP様より

退所日の水分摂取量をコップ1～2杯にして欲しい。  
夜間帯に尿漏れし、心配で寝つけません。

# そのまま、受け入れていいの？



水分摂取量を減らす事で引き起こる、本人様への影響はどうか。

---

ショートステイなのだから、家族様の介護に合わせるべきではないのか。



---



依頼を断る事で、ショートステイを使用しにくくなってしまわないか。

---



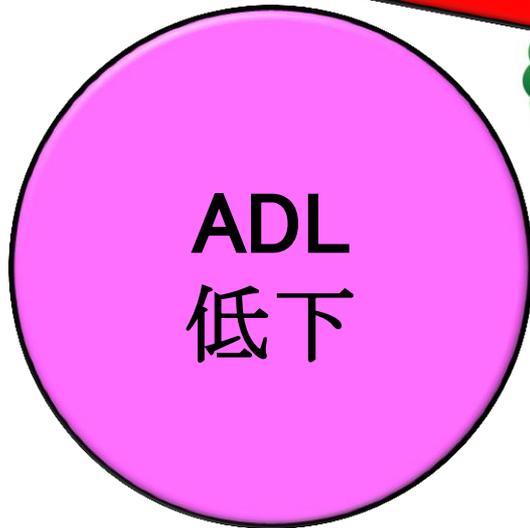
# 再アセスメント(在宅時のケア状況の確認)

## 在宅時

平均水分 摂取量	約800ml	毎食時 コップ1杯 +その他
日中 排泄用品	リハパンL + 尿取パッド (白濁、混濁尿)	トイレ毎に 失禁と 自排尿
夜間 排泄用品	リハパンL + 600ml吸収 パッド (白濁、混濁尿)	2時に誘導  リネン類 まで尿失禁
運動量	デイサービ スでの体操 のみ	終日 覚醒不良

## ショートステイ利用時

平均水分 摂取量	約1800ml	DMによる多尿、 利尿剤服用に よる脱水を懸念
日中 排泄用品	リハパンL + 尿取パッド (正常尿)	尿性状 利用経過に伴い 正常色へ改善 尿失禁なし
夜間 排泄用品	リハパンL + 600ml吸収 パッド (正常尿)	衣類汚染に 至る程の失禁 なし
運動量	レク体操 移動終日歩行 散歩 400m	入所翌日より 覚醒良好 発語多数



# 🔍 真の問題点なにか？

水分を減らして欲しい

- ・尿漏れが心配で寝つけない  
※洗濯物が増え、KPの負担が増える
- ・水分を減らす事ではなく、尿漏れを防ぐ事が目的では？



活動不足による、夜間尿量の増加か？



パットの当て方に問題はないか？



在宅時に使用している排泄用品は本人に適しているか？



## アプローチ内容 詳細

アプローチ内容	実践内容	実践評価
活動量の増加	DS、SSにて 歩行訓練の実施	DSではレク体操のみであった 為、歩行の機会を増加するよう 依頼
尿失禁原因の把握	在宅時と同様のケア実践 ユーリパン使用し尿測実施	尿意消失  自排尿:約50ml程度 腹圧実施:約100～150ml排出  残尿による失禁量の増加
失禁尿の吸収面の 確認	排泄チャート作成 失禁時の吸収面を都度記載	陰茎が短く、パット前面に失禁 尿が溜まる傾向にあり
排泄用品の見直し	リハビリパンツL→ リハビリパンツMへ移行	リハビリパンツ内でのパットの ズレが防止される

# ご家族様へ提案



 リハビリパンツMの購入

 就寝前、2時の誘導時に  
トイレで、腹圧をかける

 パッド臀部面が前になる  
ように、装着  
※当て方の介助指導

**KP**「パンツのサイズを変えたり、  
当てる方向を変えるだけで漏れ  
が無くなるとは思えません…。」

**職員**「体に適さないサイズだと、  
パンツ内でパッドがズレてしまう  
事もあります。前面よりも臀部面  
の方が吸収面が広いので、本人  
様の場合は臀部面が前に当たる  
ように装着した方が、漏れは少な  
ると思います。トイレ後に腹圧を  
かける事は、可能ですか？」

**KP**「それは大丈夫だと思います。  
とりあえず、やってみます…。」





…数ヶ月後

KP「以前、教えて頂いたやり方を続けてみています。  
今の所、尿漏れする事もなく順調です。本当にありがとうございました。  
尿が汚れている事も気になっているんですけど…。  
あと、便秘にも悩んでいて…」

## 水分摂取の重要性

- 身体機能維持、覚醒度の向上
- 今後、予測される尿路感染症、脱水の危険性
- 尿色、尿性状の改善



在宅生活の継続



# 施設在宅相互利用の開始



ご家族様の介護力

ショートステイから  
入居ユニットへ



ケアの継続  
細かな引継ぎ  
情報の共有



3か月間  
自立支援介護を実践

ご家族様が待つ  
自宅へ



# 施設在宅相互利用 ケアプラン

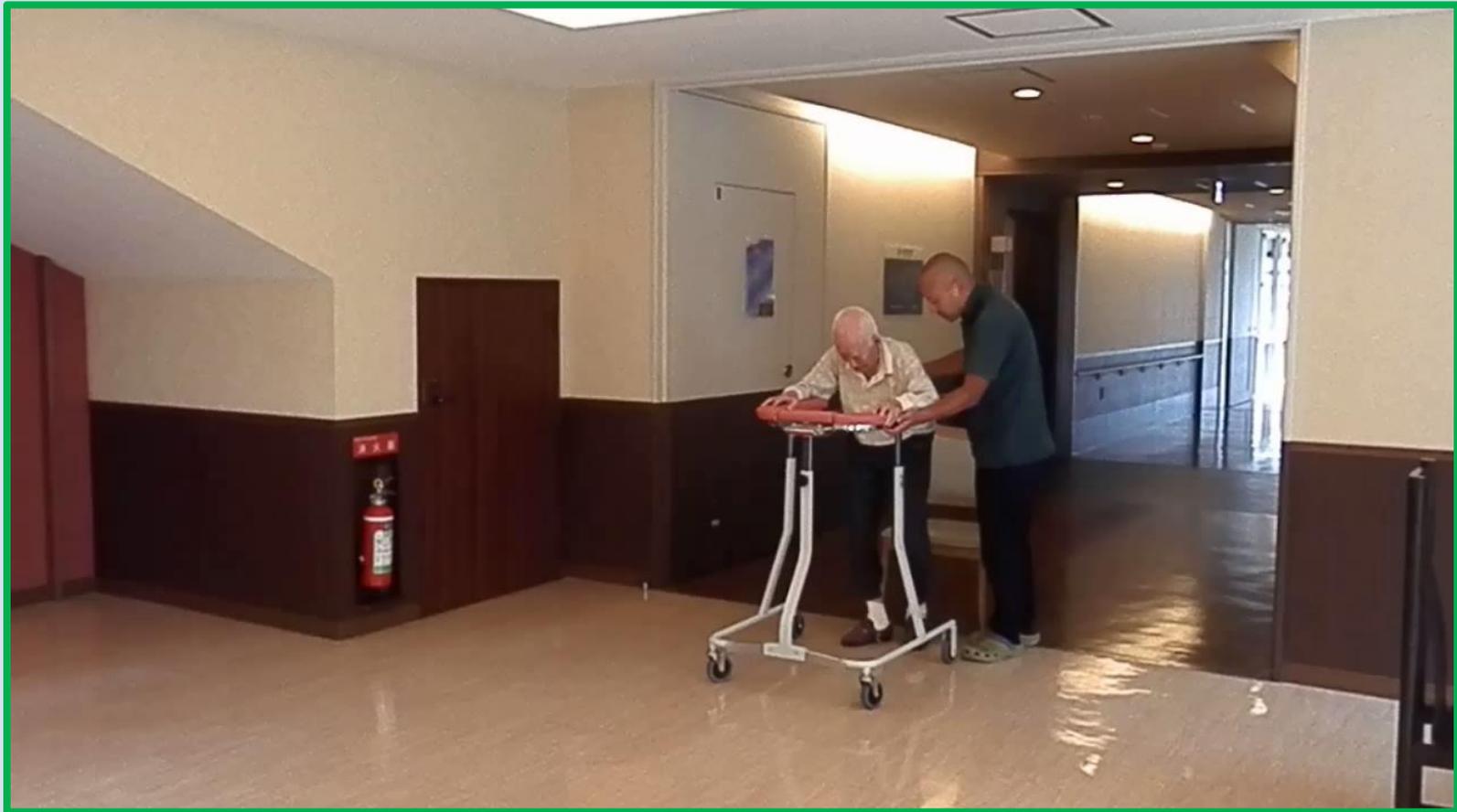
継続したケア内容	ケア実施後の変化(3か月後)
水分摂取量 1500～1800ml/日	<ul style="list-style-type: none"><li>・日中帯の尿意の獲得。尿失禁の改善。</li><li>・夜間帯の尿失禁量の減少。 在宅時を想定し、夜間2時に都度誘導。 失禁があったとしても少量で、失禁せずにトイレにて排尿出来る日もあり。</li><li>・覚醒度の向上。 自発的な発語、笑顔で過ごされる時間の増加。</li><li>・尿性状の改善。終日通して、正常色尿。</li></ul>
歩行訓練(歩行器) 200m×2以上/日	<ul style="list-style-type: none"><li>・歩行能力の向上。 安定性、耐久性の向上。</li></ul>
規則的な生活 24時間シートの作成	<ul style="list-style-type: none"><li>・日中帯の覚醒、夜間帯の良眠。</li><li>・排便間隔の定時化。(在宅時は浣腸、坐薬を使用) 未排便2～3日で自然排便。</li></ul>



# 相互利用前の歩行状態



## 相互利用後の歩行状態



ご本人が  
望む生活

正確な  
アセスメント

ご家族の  
介護負担  
介護力

必要なアプローチ

水分摂取量向上

覚醒向上

自然排便獲得

歩行能力向上

その他…

更なる自立性

栄養状態の  
改善

尿失禁改善

歩行の  
耐久性向上

覚醒度の  
向上

便秘改善



在宅生活の継続



自立支援介護展開



ADL向上



在宅生活継続



要介護度改善



介護給付費の抑制

国の介護保険を健康的に変える土台となる

ご清聴、ありがとうございました。

